

## 授業実践（４）中学校１年生「受け取ったメール」

1 主題名 本当の友情【内容項目B－(8)友情、信頼】

2 教材名 「受け取ったメール」（改作）

（「チェーンメール、あなたならどうする？」出典『みんなで生き方を考える道徳1』）

3 教材のあらすじ

チェーンメールを受け取ったら、どう思うか、どうするかを生徒に考えさせる内容で、「メールを回した人」と「回さなかった人」としてメールの文面と中学生の考えが例として挙げられている教材を改作したものである。

4 ねらい

友達に忠告することのできない心の弱さを実感するとともに、互いに信頼し合える本当の友情について考えを深める。

5 展開

段階	学習活動 ◆主な手立て	主な発問(○) 生徒の発言(・)
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">自己を見つめる</p>	<p>1 自分と親友との関係について考える。</p> <p>2 携帯の所持率や利用率について、全体で交流する。 ◆普段の生活での電子メールの利用を想起させ、資料へとつなげる。</p>	<p>○あなたがこれまで、親友のためにしてあげたことは、どんなことですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・誕生日にプレゼントをあげた。</li> <li>・悩みを聞いてあげた。</li> </ul> <p>○携帯の所持率について、全国の統計を見てください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生は半分ぐらいの人が持っている。</li> <li>・女子が持っている割合が高い。</li> </ul>
	<p>3 資料「受け取ったメール」を読んで、自分の行動を考える。 ◆電子黒板を使い、イラストの中でメール文を紹介し、実際に受け取った場面を想像させて、課題を見付けさせる。</p> <p>(1) ワークシートの1に自分の考えを書く 【書く活動①】</p> <p>(2) ネームカードを黒板に貼る。</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> </div> <p>○もし、あなたが、親友からこれらのメールをもらったら、回しますか、回しませんか。それは、なぜですか。</p> <p>(回さない)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・面倒だから。</li> <li>・人の悪口を言うのはダメだと思うから。</li> <li>・もらった人が不快な思いをするかもしれないから。</li> <li>・無視する。</li> <li>・本人に「やめた方がいいよ」と言う。</li> </ul>

自己の考えを広げ、深める

これからの自己を考える

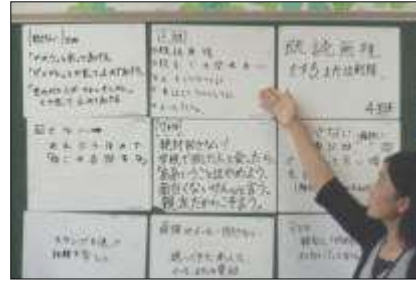
(3) 班の話合いのまとめを代表者がホワイトボードに記述し、黒板に貼る。  
【話し合い】

◆その行動が、誰のためになるか、具体的に考えさせて、ねらいに近付ける。

(4) ワークシートの2に自分の考えを書く。  
【書く活動②】

4 授業の感想を書く。  
◆真の友情を築くことにつながる場面や名言を紹介し、余韻をもって終わる。

○班で意見を出し合って、どうするか、話し合ってみましょう。  
・親友だったら、間違っただけをしてほしくないな。  
・親友にだったら、「回さないよ」と言える。  
・回さない理由を親友に伝えると思う。



○このチェーンメールを止めることができるような友情とは、どのような関係だろうか。  
・止めろと言ってあげる。言われた人がかわいそうと言って止めてあげる。  
・既読無視する。または削除する。  
・面白くないという。  
・面倒なので、「回すな」という。  
・回した人に会ったら、親友だからこそ面白くないという。  
・回さない理由を親友に言う。  
・スタンプを送って話題を変える。  
・送ってきた本人にメールか電話して回さないという。  
・親友に「止めた方がよくない」という。

○本当の親友とは、どのような関係だろうか。  
・親友が悪いことをしていたら、注意する。  
何でも話せるのが本当の友情。  
・間違っただけを指摘し合える。  
・メールをどうするか、一緒に考える。  
・見返りを求めるわけではなく、親友のためにしてあげたいと思う関係。



○授業を通して、考えたことや感じたことを書きましょう。

[授業のまとめ]

- 「自己を見つめることができたか」について
  - ・ワークシートに書かせたり、ネームカードを黒板に貼らせたりすることで、生徒は、これまでの経験やその時の感じ方や考え方に照らし合わせた自分や友達の考えを知ることができました。
  - ・生徒自身の考え方の変容が分かるように、ワークシートの記入した後、班で話し合いをする際に友達の考えを赤ペンで書くなど、色を変える工夫が必要でした。
- 「自己の考えを広げ、深めることができたか」について
  - ・グループの話合いでは、友達との意見交流をすることによって、自分や友達が、①自己意識、②相手意識、③第三者的意識のどの立場を意識した考え方が、吟味することができました。
  - ・グループで話し合ったことをホワイトボードに記入して黒板に貼ったことにより、全体の考えを

可視化することができ、様々な視点から全体の交流を行うことができました。

- 「これからの自己を考えることができたか」について
  - ・自分が選んだ判断の結果が、「親友のため」ではなく、「第三者のため」と考えた生徒にとっては、ねらいである友情・信頼に考えが及びにくかったと感じました。